

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会  
第9回災害対策（オンライン）研修会が開催されました。  
災害対策委員会 西澤 茂子

去る2020年10月17日(土)に第9回「災害対策研修会」がオンラインにて開催されました。

コロナ禍により会員を参集した研修会の開催が困難なため、本会理事・役員、事務局職員、ブロック長、エリアコーディネーターを対象としたオンライン研修会で、19名の皆様にご参加いただきました。

「感染症対策を基軸にした災害対策と本会における災害時の連絡体制強化」をテーマに、下田災害対策委員長による講義と、講義後には闊達な意見交換会が行われました。

「感染対策を念頭に置いた災害対策について」の講義では、感染症予防対策を取った避難所のレイアウトの例やCOVID-19により外部からの救援物資が入りにくい状況を念頭に、これまで言われていた3日分ではなく、1週間程度の備蓄をするなど、理学療法士自身も自助力を向上させることが必要との話がありました。「本会の令和元年題風19号対応における課題」については、県内12ブロックの被害状況、会員の安否確認に発災後約5日間程度を要し、各ブロック内、ブロック間における連絡体制の脆弱性が顕在化された事、発災初期からの行政からの支援要請（伺い）に対して、本会としての体制が不十分であった事などの課題も共有されました。喫緊の課題の1つである連絡体制については、「本会とブロック間の連絡体制と各ブロックにおける会員安否確認システムの説明と試行のお願い」として、川崎南部ブロック及び湘南西部ブロックの安否確認システムにおける連絡経路の紹介とともに、各ブロックの連絡体制に関する情報交換も行われました。

ディスカッションでは、BCP(事業継続計画)の側面からも本会事務局が被災しても災害対策本部を機能させる事が課題であることや、OT士会、ST士会といった各士会との連携の必要性についてなど、闊達な意見交換が行われました。

災害対策委員会では、今後もコロナ禍に対応しながら、研修会を含めた情報を随時発信していきたいと思っておりますので、引き続きご関心及びご協力のほどよろしくお願いいたします。

課題検討会パブリックヘルス会議資料より

## EMT感染症対応の枠組み

<現状の日本の枠組み>

	EMT (for Individual)	PH-RRT(for Community)
自然災害	JDR医療チーム	
感染症		JDR感染症対策チーム

